



2011～2012 年度
国際ロータリー会長

カルヤン・パネルジー

Weekly Report Niigata



2011～2012 年度
新潟ロータリー会長

佐藤 紳一



心の中をみつめよう
博愛を広げるために

2011～12 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 11月第5例会 (2011.11. 29) No.2923

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 佐藤 紳一会長挨拶

「家族月間」

先週は浪江ロータリーの松本さんをゲストにお呼びし、東日本大震災のことについて様々なお話をいただき、心が痛くなりました。心労お察しいたします。

さて12月は家族月間です。「そうと起き、そうと出て、そうと帰る」そのような生活の私が「家族月間」の話は恥ずかしく難しいです。先日、鎌田実「命の対話」を聞きましたがテーマは「お父さん」です。父親はあまりよい意見は出てきません。反対に母親は礼賛の言葉だけ聞いていて死ぬときはいつも「お母さん」だから、しかたないのかと納得させられた。

季節感でいくとちょっと違いますが「里の秋」といううたがありますが、詞の中では「母さんとただ二人栗を煮てますいろりばた。」2番では「ああ父さんのあの笑顔栗の実食べては思い出す。」3番では「ああ父さんご無事でと今夜も母さんと祈ります。」とあります。戦地にいる父親を心配している昭和の家族を表わしているような気がします。

数年前に1年交換留学生として新潟クラブで受けたギルハルム君、私のところに3ヶ月くらい受けましたが、私の母親が可愛がり、毎朝果物を朝食に出し、一緒に食べていました。彼からのメールで写真を見ると「大人になった」とか「いい男になった」言葉を写真に語りかけています。またギルも「Mama san, Yumi san, Satou san no okusan」と母親を1番に書いてくるから、なおさら可愛い可愛いとなる訳です。これも家族愛だと思います。

犬も家族同様に考えている人は多いと思いますが、犬の種類によって癌の発生率に差があるようです。癌ができる年齢は犬年齢7歳約10%、10歳で約17.5%。癌の発生率が最も高いのはゴールデンレトリバー15.4%、バグ11.8%、ラブラトルレトリバー11.6%。最も低いのはチワワ2.9%だそうです。

東日本大震災で日本中絆ができました。これは本当の意味での日本大家族ではないでしょうか。

(3) 委員会報告

・若槻 良宏 IA 委員長より、12月23日に開催されるクリスマス献血キャンペーンの協力お願い

(4) 幹事報告 (高橋 秀松幹事)

名取ロータリークラブからお礼状と写真集(小齋誠進氏 関上地区撮影「その時、関上は」)、DVDを送って頂きました。

・名取 RC 会長 中野 晃

この度は思いがけ無く、お心のこもったお見舞いを頂戴致しまして誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。このご厚意をふるさと名取の復興のため、大切にに使わせて頂きたいと存じます。あの日、震度6強の大きな揺れが名取を襲いました。遠くから今までに聞いたことの無いような地鳴りと同時に、立つことの出来ないほどの揺れが3分以上続きました。地面はうねり、激しく揺れながら目の前で崩れていく建物、亀裂が走り、壁やガラスが割れて大きな音をたてて落ちて飛び散る様など、街の中は騒然となり多くの人は突然の出来事におびえて立ち尽くしていました。それから約1時間後、恐ろしい大津波が東北沿岸を襲いました。名取市関上地区を含む市内沿岸地域には9mの津波が貞山堀(日本最長運河)を超えて内陸6kmにまで押し寄せ、平穏に暮らしていた人も建物も全て飲み込んでしまいました。クラブの会員、家族の安否が確認できたのは、それから1週間以上過ぎてからのことでした。大津波を背に必死で逃げて九死に一生を得た会員も多くおりましたので、今クラブがあり、職業があつて、地域復興に関わることができることは大変ありがたいことと思っております。新潟ロータリークラブ様の篤いお心に触れて、また、今日よりふるさとの復興に務めて参る所存です。御礼と感謝の意を込めまして名取の地より会員皆様のご健康と貴クラブの益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

(5) 会員スピーチ

「企業の課題解決に向けたICT活用の可能性」

東日本電信電話㈱新潟支店長 笠井 明 君

12月6日の例会予定

年次総会開催

ホームページを更新致しました！

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

コラム

清水建設㈱新潟営業所

所長 浜田晃司

「私の趣味」

皆さんも子供の頃にプラモデルを作った覚えありませんか？一心不乱にランナーから部品をちぎり取って、手を接着剤だらけにして、1日で完成させてはお風呂に入れて、すぐ壊してしまったりして・・・私の場合は、これを延々大人になるまで続けています。もっとも現在は、子供の頃のような乱暴な作り方ではなく、かなり高度で精緻な大人のホビーとして楽しんでいます。

そこで簡単に私の取り組み方をご説明したいと思います。

①実際の機体に忠実に

基本的には実在の飛行機なり船をモデルにしていますが、キットは形状が必ずしも正しく再現されていないので、資料や写真に基づき修正します。

②より精密に

プラスチックでモデル化する為に、当然、ディテールは省略され、ボッテリしているので可能な限り各種素材を使い精密化、シャープ化を図ります。

③塗装も実物に忠実に

細かいところまで塗装を施します。迷彩の色などは過去の資料や文献を調べて、当時の色を再現出来るように考えます。大戦機は資料が少なく、諸説が入り混じります。ゼロ戦の色などは人によって全く違う色の解釈がなされているほどです。エンジンの煤やオイルの漏れた汚れ、塗装の剥がれ等も、写真を調べて出来るだけリアルに再現します。

以上、大変手間は掛りますが、完成した時の喜びはひとしおです。全国各地に同好の志がいますので、各地の展示会めぐりもまた楽しみです。

目が大分弱くなってきましたが、まだまだ続けていきたいものです。